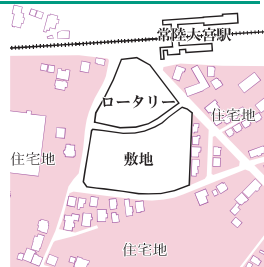




たくさんの市民を誘い入れてにぎわいをつくる『ツドイバ』

駅前魅力的なまちの顔をつくる

- 新駅舎の建設とロータリーの整備を含む交流拠点の整備は、合併により西に広がった中山間過疎地域にも目を向けて、駅西側のこれからの暮らしをはじめつつある住宅地のなかで、まちの未来を象徴する事業であり、ひいては常陸大宮市全体の未来を考える事業であるといえます。
- 基本計画の内容を踏まえつつ、まちの玄関口であり、新しい顔となる新駅舎と一体感を持って整備し、駅から西に臨むまちのイメージをしっかりと持ち合わせて、常陸大宮市の魅力と活気ある未来を象徴する、にぎわいであふれる交流拠点を提案します。
- また、新駅舎のコンセプトである「カコイバ」とそのモチーフである「西塩子の回り舞台」を符号させることで、連帯性のある交流拠点をつくります。



敷地は新駅舎の建設及びロータリーの整備を控えており、また、新しい住宅が増えつつある場所です。

遊びも通勤通学もまちのにぎわいにする

- 新駅舎・ロータリー・当該敷地は「まちなかの公共空間」という意味で一帯の空間としての連帯性を持つことが望まれます。
- 特に都市活動に見られる人々の動き（モーターリゼーションやサーキュレーション）を含めることで、より一層のにぎわいをつくり出せることから駅前一体を含めた交流拠点とすることを提案します。
- 新駅舎の建設とロータリーの整備を活かした駅前公共空間の一体感をつくり、周辺公共施設利用者や駅利用者、周辺住民等の多様な人々が集うことで賑わいを魅せる「集場（ツドイバ）」をつくります。



ツドイバを緩やかに囲むリング
駅前一帯を囲うリングをつくりつつ、住宅地と公共空間が適度に干渉しあう関係性をつくりながら人々を呼び込みます。

ツドイバを包む大きな屋根
交流の場は開放的な大きな屋根で一帯の場を包み込み、多方面から人々を呼び込み、にぎわいを創出します。

交流を生むゆりのあるツドイバ
ゆりをもって配置することで交流の機会を増やし、内外ににぎわいをみせます。